



助けあい、支えあい、ともにつくる くらしの安心 (2020年ビジョン) をめざして ~私たちのありたい姿~

いわて生協は、協同の力で復興支援に取り組んでいます。

「バスボランティア」 開始から100回に!

2011年6月に開始し、7月13日で100回に。これまでに、のべ3,760人がボランティアとして参加。全国の生協からのたくさんのボランティアもいっしょに活動しています。



6月22日(土)、陸前高田市の国道沿いにひまわりの種を蒔きました。



黄色のビブスはいわて生協の、緑色のビブスは大阪や奈良の生協からの、組合員ボランティア。

4台目の「にこちゃん号」を運行

組合員の募金と全国の生協からの支援により運行している移動店舗。5月11日からせせん地域で4台めをの運行をスタート。特に要望の多かった県立高田病院前や仮設団地など11か所をまわっています。



復興支援地産地消フェスタ in 牧野林

5月18日(土)・19日(日)の2日間で2万人が来場。沿岸被災地から26団体が出店し、たくさんの利用があり喜ばれた。



東日本大震災支援募金 5,857万7,047円

(2013年6月20日現在、日本生協連からの支援金を含む)

2,000万円を岩手県へ義援金として贈呈(11年5月)。残りを「復興支援基金」として支援活動に活用しています。

※11~12年度は4,740万622円を活用しました。

2013年3月21日~6月20日の「復興支援基金」活用状況

被災地でのふれあいサロン(バス代、運営費など)	109万4,310円
被災地でのお楽しみ企画(交流会、バスツアーなど)	88万7,803円
グループ活動費用補助(52件)	55万4,229円
CVCバスボランティア(バス代、ニュース費用など)	23万2,490円
計	276万8,832円



いわて生協は、協同の力で 支援活動を続けていきます

3年間の支援「ありがとう!」



移動店舗

来てくれてとても
助かっています!

大槌町吉里吉里仮設団地にて

移動店舗「にこちゃん号」は、組合員の募金と全国の生協からの支援で購入。現在4台が宮古・釜石・けせん地域の仮設団地58か所・4千戸を1日おきに訪問しています。



被災生産者を 支援

さまざまな支援のおかげで、
がんばってこれました!

産直真崎わかめ生産者の田老町
漁協青野滝養殖組合のみなさん

被災した生産者の復活と、その商品利用で復興を支援。供給額はこの1年で3億円、3年間で6億1千万円に。また、被災グループの手作り品販売も3年間で2,800万円になります。



ふれあいサロン

楽しい時間を
ありがとう!

宮古市宮町あゆみ公園仮設団地にて

沿岸6市町村の64仮設団地・地域の41会場で、心のケアとふれあいを目的に毎月開催し、内陸の2店舗でも月2回開催。この2年半でのべ1,113回開催し、11,025人が参加。ボランティア参加は、のべ4,760人。



グループ 活動を支援

こうしてみんなで過ごせるのも
支援のおかげ。感謝しています。

宮古市弘川仮設団地「いきいき教室」のみなさん

被災された方々の生きがい作りになればと、5人以上のグループでの活動を支援。これまでに36グループへ計448万円を補助しています。

あなたも支援活動をし
てみませんか?

お問い合わせは組織本部へ (月曜～土曜)
☎019-603-8299 (9時～18時)

今年度の
東日本大震災支援募金
986万3,162円
(2月20日現在)

みなさんからの募金が支援活動を支えています。
ぜひ募金にご協力ください。

今年度の「復興支援基金」活用状況 (2月28日現在)

被災地でのふれあいサロン	749万7,636円	バスボランティア	277万8,479円
被災地での楽しみ企画	383万989円	その他	25万1,555円
グループ活動支援	224万7,361円	計	1,660万6,020円

3年間の「東日本大震災支援募金」は累計6,673万4,315円で、うち2,000万円を岩手県へ。残りを「復興支援基金」として累計6,400万6,642円を支援活動に活用。